

新評論

2022

9

No.325

発行所 © 新評論 2022年
 〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
 TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
 http://www.shinhyoron.co.jp
 e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
 振替 00160-1-113487 価格税込



あの加藤一二三棋士も絶賛! 「いちごの将トケー棋」

カプセルトイ・フィギュア界注目のフードギャグ・クリエイター初の作品集! 日々の癒しに、ハロウィンやX'masの贈り物に!

おやつギャグつめあわせ

カナイガ

◆ジャンル:アート(工芸・クラフト/クリエイターの作品集)

おもに食べ物をモチーフに、ダジャレや言葉遊びをからめて平面や立体の作品を制作、SNSで発表しつづけている気鋭のクリエイター、カナイガさん。

たとえば「ひふみん」こと加藤一二三棋士が、SNS上で「注文したのです!」とコメントしたことでネットが騒然となった「いちごの将トケー棋」。読んで字のごとく、たわいないダジャレなのですが、カナイガさんの手にかかるごときに立体作品として表現されてしまいます(写真参照)。

SNSでバズったことで、この作品は加藤棋士のすいせん文つきでカプセルトイ化されました。ほかにも「コーン約指輪」「6麵サイコロ」「のせのせネックレス」など、カナイガさんの作品はそのつど注目をあつめ、立て続けにカプセルトイ化されています。「コーン約指輪」にいたっては、あのビッグボスこと新庄剛志さんが昨年暮れに「世界一受けたい授業」(日テレ)で紹介し、「ビッグボス=日ハムバージョン」がつくられたほど。また今年3月に公開された新作「たこ焼きの

舟」には、20万もの「いいね」がつきました。

本書にはこれら代表作(「新庄さんバージョン」は除く)のほか、本でしか見ることのできないSNS未発表の最新作を収録。さらに「商品化してほしい!」という声が殺到した「バター乗せ乗せすころく」と「バターシルブツク」を、綴じ込みふろく付きで収めました。

タイトルの「おやつギャグ」は、「おやじギャグ」にかけて作者の造語で、「おやつをつまむように気軽に楽しんでもらえたら」という思いが込められています。

仕事や家事に疲れた日、手のひらサイズのかわいい本書をひもといて、ダジャレのくだらなさにズッコケたり、食べ物写真にバターを好きなだけ乗せて遊んだりして、ほっとひと息ついていたければ幸いです。ハロウィンやクリスマス、誕生日の贈り物にもぜひご活用ください。

(編集部)

ISBN978-4-7948-1217-9 9月16日刊

B6変型(128×150mm)並製
 オールカラー一二八頁 予一四三〇円

作者 クリエイター。多摩美術大学卒。「食べ物×言葉遊び」をモチーフに作品を制作、2018年ごろからTwitterやInstagramを中心に発表。現在は会社員をしつつ、アイデアや作品を考案中。これまで5作品がカプセルトイ化されたほか、メディアへの露出も増えている。



本書挿絵(日本語版のみ)より

「働き方改革」だけでは解決しない!具体的なアドバイス満載で
教師自身の「生き方改革」をサポートする画期的ガイドブック

教師の生き方、 今こそチェック!(仮)

アンバー・ハーパー／飯村寧史・吉田新一郎 訳

◆ジャンル:教育

本書は、教師が自分の生き方に自覚的になり、より充実した人生を送ることができるようサポートするガイドブックです。原題はHACKING TEACHER BURNOUTで、直訳すれば「教師のバーンアウトをハックする」といった意味です(ちなみに「バーンアウト」は、日本では「燃え尽き症候群」と訳される場合が多いのですが、実際にはより広い意味をもつ語です)。日本でも、熱意のある教師ほど日々の過酷な業務に忙殺され、自分を見失い、悪循環に陥りがちな状況があるのはご存じの通りです。

しかし読み進めるうちに、本書の内容が「バーンアウトの防止・克服」という狭い課題にとどまらず、日本の教師にこそ必要な、「充実した働き方、自分を活かす生き方」を提唱するものであることに気づきました。

本書には自分の現状分析の仕方から始まり、多忙な学校生活・私生活のなかでも心を平穏に、前向きに保つための考え方や具体的な方法が段階を追って紹介されています。忙しさに流されずに自分の価値観を見つめ直し、それに沿って仕事をするためのヒントが満載です。各章末には自己分析や課題を書き込めるスペース

を用意しましたので、読み進めながら現状を自分の言葉で表現していけば、きっと少なからぬ発見があるでしょう。訳者の私自身、本書の方法を実践するうちに、今まで以上に前向きに、楽しく仕事に取り組めるようになりました。

世では「働き方改革」が声高に叫ばれています。ただ早く仕事を終えて帰ることだけが目的になっていないでしょうか? 本書を読めば、本当に必要なのは自分の「生き方改革」であり、そこにこそ喜びや楽しみがあることがわかります。本書が、全国の先生方が今以上に充実した人生を送り、より良い教育に取り組むきっかけとなることを願っています。

(いむら・やすし 公立中学校教員)

ISBN 978-4-7918-1219-3 9月下旬刊

四六並製 二八〇頁 二六四〇円

学校のリーダーシップをハックする

(変えるのはあなた) 二四二〇円

J・サンフレリポ十T・シナエス / 飯村寧史・長崎政浩・武内流加・吉田新一郎 訳

私にも言いたいことがあります!

(生徒の「声」をいかに授業づくり) 二六四〇円

D・ブリス / 飯村寧史・吉田新一郎 訳

好評刊

「学校」をハックする 二二〇〇円

(大変な教師の仕事を変える10の方法)

M・ハーンズ他 / 小岩井徹・吉田新一郎 訳

著者 Amber HARPER アメリカ・インディアナ州出身。教職を務めたのち、自身の経験を生かしてバーンアウト克服をサポートするコーチとなり、多くの教師を救う。バーンアウトに苦しむ教師のためのサイト「Burned in Teacher」を創設、ポッドキャストや講演などを精力的に行っている。



台湾・台北市の高齢者施設「愛嬰院」
全景

スウェーデンの高齢者ケア研究と紹介の第一人者が、日本を含む東アジアの介護システムを比較、その課題を掘り下げる意欲作!

東アジアの高齢者ケア

韓国・台湾のチャレンジ

西下彰俊

◆ジャンル:比較福祉社会学・介護政策研究

著者は、これまでスウェーデンの高齢者ケアについて福祉社会学の視点から研究を重ね、「スウェーデンの高齢者ケア」(二〇〇七年)と「揺れるスウェーデン」(二〇一二年)を上梓してきた。この二冊で浮き彫りになったのは、先進的な福祉国家のイメージが強いスウェーデンの高齢者ケアシステムがもつ光と影であった。また、プロレタリア作家イーヴァル・ローヨハンソンの著書「スウェーデン・高齢者福祉改革の原点」(共訳、二〇一三年)の翻訳を通じて、一九五〇年当時のスウェーデンの、高齢者を含む社会的弱者をめぐる残酷な状況を明らかにした。三冊とも新評論のお世話になっている。

そしてこの度、一〇年近くの歳月を経て、本書「東アジアの高齢者ケア」を世に問うこととなった。本書は、マクロレベルの抽象度の高い福祉国家論と、ミクロレベルの個性性の高い介護のモノグラフを架橋する、いわばメゾレベルの福祉社会学を志向している。アメリカの社会学者ロバート・キング・マートン流に言え、中範囲の比較福祉社会学研究の試みである。

日本の介護保険は、フルスペック型でサービスの種類が多い「バスタオル型」

である。韓国は逆に、スペック限定型でサービスの種類が少ない「フェイスタオル型」と言える。一方台湾では、税を財源に心身障がい者をも対象とする「ユニバーサル型」の介護システムが実施されているものの、運用が複雑で独自性が強い。本書ではこれらの国々の介護システムの全体像、そして要介護高齢者にとって最も重要なケアマネジメントのありようについて、その光と影を実証データに基づいて浮き彫りにする。加えて、各国が乗り越えるべき課題とその展望をも具体的に提示する。

本書は、一人の研究者が単独で行った、本邦初の比較介護政策研究である。さらに、患者自主権立法に基づいて、「豊かな死」の社会的基盤を整備する台湾の先進的な姿勢も紹介し、その法律上の問題点にも言及する意欲的な書でもある。

(こじつた・あきとし)

ISBN978-4-7918-1218-6 6月上旬刊

A5上製 二六〇頁 二七五〇円

スウェーデンの高齢者ケア

(その光と影を追って)

西下彰俊

二七五〇円

好評刊

揺れるスウェーデン

(高齢者ケア・発展と停滞の交錯)

西下彰俊

二七五〇円

著者 1955年生まれ。愛知県春日井市出身。東京経済大学現代法学部教授。財団法人東京都老人総合研究所社会学部、神戸山手女子短期大学生生活学科、金城学院大学現代文化学部を経て、2004年より現職。専攻は高齢者福祉論、老年社会学。

改訂版 読書家の時間

プロジェクト・ワークシヨップ編

〔自立した読み手を育てる教え方・学び方「実践編」〕「読むこと・書くこと」が得意になる待望の最新版。A5並製 一八〇頁 二二〇〇円



ざんねんな先生

有馬心一朗

〔教育界初！「非常識な現場」を大告白〕不幸の根絶を訴え、あるべき教育の姿を希求する魂の告発！
四六並製 一二四頁 一九八〇円



生のための授業

M・ベルンセン／清水満訳／企画協力：オ・ヨシホ

〔自信に満ちた子どもを育てるデンマーク最高の教師たち〕悩める日本の教師にデンマークからのアドバイス。四六並製 一二六頁 一九八〇円



不安な心に寄り添う

C・ラヴィン・ウィンスタイン
小岩井僚・吉田新一郎訳

〔教師も生徒も安心できる学校づくり〕もの見方や考え方を変えると教室が変わる。米国発スクールメンタルケアの最前線。四六並製 二九〇頁 二六四〇円



スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

ヨ・ランネバネリッド／鈴木賢志・本郷純木セツ子編訳

〔日本の大学生は何を感じたのか〕投票率85・8%の国では、小学校社会科で何を教えているのか!? 四六並製 二八〇頁 一九八〇円



幼児から民主主義

E・アルネル&S・ソーレマン
伊集守直・光橋翠訳

〔スウェーデンの保育実践に学ぶ〕政治への諦念と権威主義を斥け、参加の意識を育む保育実践の手引き。四六並製 二四四頁 二二〇〇円



きみは星のかけら

E・ケルシー文／S・キム絵／光橋翠訳

詩的な文章とアーティスティックな絵で「地上のあらゆる生命の関連」をイメージ豊かに美しく描くエコロジイ絵本。B5変型上製 四八頁 一七六〇円



ひとつからはじめよう

絵文…ピーター・レイノルズ／島津やよい訳

ひとつのアクションが「水におちたひと粒の小石」のように大きな波を生む。「行動」の大切さを説く希望あふれる絵本。A4変型上製 三三頁 一三三〇円



お好み書き見ええない人の
「ちよつと世間話」

水谷昌史

視覚障害者、世間を斬る! 「真のリアフリー」を求めて物言う視覚障害者の、タブーを恐れぬ傑作エッセイ集。四六並製 二四〇頁 一九八〇円



私、子宮がんやめました

ドクターファンタスティック★嶋守さやか

「抗がん剤、やってどうなる?」がんとこの出会い。辛さと怖さに日々向き合っている「あなたの心」に触れたくて。四六並製 二二六頁 一九八〇円



「ドエントド」

本田一成

「KDDI労働組合20年の「キセキ」」激しくドラマチックな闘いの歴史を描く、刺激に満ちた傑作ノンフィクション。四六並製 三三四頁 二六四〇円



「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?

選挙ウオッチャーちだい

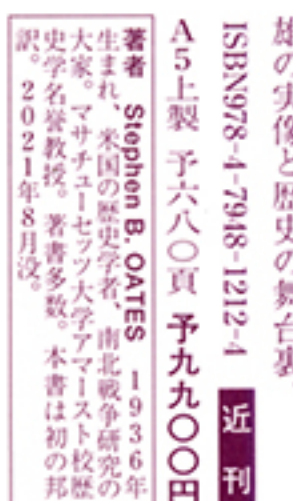
イジメ・嫌がらせ・脅迫、スラップ訴訟、人権無視・差別容認発言…政党の皮を被った反社カルト集団を徹底追及! 四六並製 二二六頁 一六五〇円



何人にも悪意を抱かず

ステイブン・B・オーツ／高島敦子訳

「エイブラハム・リンカン伝」「奴隷解放の父」「史上最高の大統領」は何を信じ、何に悩んだか。人物の内部に深く沈潜して描かれる英雄の実像と歴史の舞台裏。



ひょうろく
「兵六」

柴山雅都

「風を感じる」こだわりの居酒屋。愛され続ける居酒屋の歴史・秘話・魅力を3代目亭主が語り尽くす。四六並製 二四〇頁 二二〇〇円



攻める自治体「東川町」

中村稔彦

「地域活性化の実践モデル」人口減に見舞われ、過疎指定を受けながらもユニークな施策で発展を続ける唯一無二の北の町。四六並製 二二六頁 一九八〇円



メイド・イン・タカオカ

関満博

「伝統工芸と近代産業が織りなす富山県高岡市」一大商工業都市として栄えた町の歴史と現在を総合的に探究。A5上製 五九六頁 八八〇〇円



白石嘉治 『青空と文字のあいだで』

現代思想に入門したい人へ

■評者 森 元齋もとなお（長崎大学多文化社会学部准教授）

著者の白石と会って話すと、こちら側も脳内が高速回転で現代思想の議論をせざるをえない。飲み会で隣の席にでも座ってしまったならば、こちらも哲学・思想史を研究している端くれとして、次から次に繰り出される議論を千本ノックのように打ち返さなければ、白石節は楽しめない。そう、日常的に現代思想を体まると表現ができる稀有な思想家である。

白石は仏文学者であり、思想家である。本書では、直接会った際には思考をフル回転せざるをえないジャーゴン（仲間内だけで通じる用語）は

身を潜め、それどころか文学的なレトリックの美しさも堪能できるとともに、何よりも大変読みやすく現代思想を語ってくれている。雑誌『現代思想』や各所で話題沸騰の雑誌『福音と世界』で書かれたものが一冊にまとめられており、天皇制や満員電車、はたまた人類学者のレヴィ・ストロースや哲学者のドゥルーズなどについて縦横に議論が展開されている。

白石による現代思想の定義は明快だ。「アカデミズムの強度をたもちつつ、広範な読者にむけてうったえる」。この定義が提示されている前の

『西日本新聞』2022年7月9日

文脈では、レヴィ・ストロースが語られている。彼もまた、博士論文を書きながらもポストも得られず、論文集の出版も断られるなどの失意の中、

「二度だけ気楽にものを書く」という仕方です。『悲しき熱帯』を出版し、世界中の読者を得るに至った。現代思想はレヴィ・ストロースにはじまるゆえんである。

他にも私が好きなドゥルーズの一節が引かれている。以前この書評欄でも現代思想の背後には差異の思想がある旨を書いたが、差異を肯定するものと否定するものについてドゥルーズは前者を詩人、後

者を政治家だと書いていた。その一節を引きながら、詩人の創造性を語る著者の書きっぷりはこちらも唸らざるをえない。

現代思想に入門したい人、現代の諸問題について考える道具だてを得たい人にとって、うってつけの書籍であるのは間違いない。

青空と文字のあいだで

白石嘉治

戦禍と災厄の暗がりを経て「かけがえない離脱のとき」を生きたために。文明の黄昏のなかで紡がれた犀利な思考の記録。四六仮フランス装 二七〇頁 二四二〇円

「アナキズム」書評

ISBN978-4-7948-1208-7



本を売る

独立書店の役割

「儲けは二の次。近所の人とゆるく繋がっていたいから、店はやめない」。下駄屋の娘さんがラジオ番組で、今は昔ほど儲からないのに、親が店をやめない理由をそう話していた。150年の歴史がある老舗の下駄屋が辿り着いた言葉「儲けは二の次」とは一体何だろうか? 「本を売る」立場から考えてみた。

当店はいわゆる「独立書店」で、昭和レトロなアーケード市場の中に立地している。店の広さは約6坪。新本のみを扱っているが、それだけでは厳しいので、お酒とビールが飲めるカフェもやっている。この市場は半分以上が店を閉めていて、人通りが少ないシャッター商店街であり、常連客から「売人が逃げ出す市場」という不名誉な称号を頂いている。

「商い」という言葉は、売る側も買う側も「飽きない」に通じるともいわれるが、わが市場がなかなか活気を取り戻せずにいる理由は、逆に「張り合いがなくて、商いに飽きてしまっている」ところにあるのかもしれない。しかし「儲け

は二の次」と発想の転換をすれば、「飽きない商売」ができそう。

商品を朝早く仕入れ、店頭に並べ、売り尽くし、完売の札を下げ、トヤ顔をするだけが商売ではない。半径1km圏内の顔見知りの人々とゆるく繋がっていたいから、儲けは二の次で店を続ける。なるほど、確かに素晴らしい考え方だとは思いますが、暗黙裏に「地元を埋める覚悟」が問われるので、移住者にはハードルが高い。

DJで作家のロバート・ハリスが昔シドニーで経営していたギャラリを兼ねた書店は、ボヘミアンの溜まり場だったらしい。売人でも地元民でもない、謎の放浪者が気軽に入れる書店だったわけだ。当店もいまだに近所の人から奇異な目でみられることがあり、謎の「独立書店」と思われているフシがある。ならば、半径1km圏の結束からはみ出した人達が気軽に出入りできる、「サードプレイス」としての役割を追求するのがいいのかもしれない。

売人が逃げ出す市場で「飽きない商売」を続けるにはどうすればいいのか? 7年目に突入した今も悪戦苦闘中である。

INFOSHOP 大都会門司港

店主 米澤 豪

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(5・2~6・22)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 5・2 ◎日本教育新聞『生のための授業』(藤本鈴香)
 5・7 ◎図書新聞『ひとつから 始めよう』
 5・26 ◎東洋経済オンライン『プロジェクト学習とは』(田中光夫)
 5月号 ◎新英語教育『国語の未来は「本づくり」』(鹿又 悟)

- 5 月 ◎蒲郡市立図書館おすすめ本『まちがいなんて ないよ』
 6・18 ◎朝日新聞『ビヨンド!』(神林 龍)
 6・20 ◎賃金事情『ビヨンド!』
 6・22 ◎読売新聞『私、子宮がんやめました』(著者談)
 [4月号 ◎この本よんで! (松戸市立図書館)『ひとつから 始めよう』

【書評再録特別編】

*「図書新聞」7/30号、2022年上半期読書アンケートより引用

◆河津聖恵(詩人)

白石嘉治「青空と文字のあいだで」現在の反詩的な世界が「一冊の美しい書物」へ至るための様々な動線を繊細に精緻に、時に詩を擦過しつつ描き出す。詩を書く私自身がいつしか被ってきたこまかな傷が、本書の既知・未知の思想の言葉によって光を当てられ明確に浮かび上がった。

◆五野井郁夫(政治学・国際政治学)

A・エスコバル／北野収訳・解題「開発との遭遇」第三世界および開発という概念の発明と浸透過程を明らかにし、グローバルサウスのラディカルな思想家たちの掲げる「開発への抵抗」へとつなげることで、人新世論のような周回遅れのパラダイムが克服できなかった「持続可能な開発」論からの脱却の道を指し示す、開発学の現代の古典。

本を読む

さんねんな先生 ■

公教育に携わった経験はないのですが、スイミングスクールのコーチをしていました。昔読んだある教育書の結論が、ただ一言「思いやりのある人になるよう育てよう」だったのが印象に残っています。人を導く立場にある者は、このことを忘れず、「さんねんな先生」にならないよう心がけるべきと思います。(名古屋市長 木場吉行 63歳)

生のための授業 ■

海外の教員から、日本と大きく違う教育事情の話聞いて、詳しく知りたいとずっと思っていたので、この本を手にとって思わず膝を打ちました。参考になる内容が満載で大満足です。海外の教育事情や現場の声を紹介した本がもっと増えればと願います。世界の数学教育についても知りたいです。

(横浜市 教員 内田愛樹 25歳)

「NHKから国民を守る党」とは 何だったのか? ■

著者の出版記念イベントでサイン本を購入しました。まえがきにある通り、まさに「4年にわたる闘いの記録」であり、末永く販売してほしいです。2019年夏の参院選で、差別主義者でハラスメント気質の立花孝志氏とその取り巻きに議席を与えてしまったことについて、有権者の一人として自責の念を忘れずにいたいと思います。(掛川市 会社員 小島周 43歳)

好評刊

フィンランド公共図書館

〔躍進の秘密〕

吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン 著

二七五〇円

「価値を否定された人々」

〔ナチストドイツの強制断種と「安楽死」〕

中野賢世・木畑和子・梅原秀三・紀 電子

三三〇〇円

オーデュボンの鳥

〔アメリカの鳥類「セレクション」〕

ジョン・ジームズ・オーデュボン 二四二〇円

編集部から

七つの巨大なたこ焼きをのせた小舟が、川に浮かんでいる。「たこ焼きの舟」と題するその写真を見たときの幸福感は忘れられません。若きクリエーター・カナイガさんによる、「舟皿に盛りだくさんなたこ焼きを人間が演じたらどうなるか」という作品です(動画もあります)。暗い世相に窒息しかけていた心が、ほっと緩みました。カナイガさんのすべての作品に、この軽妙さとやさしさが通底しています。新刊「おやつギャグつめあわせ」は、その代表作をまとめた初の作品集。「料理やおやつに好きなだけバターを乗せる疑似体験」ができる、遊べる付録もついています。プレゼントキャンペーンも予定しています。ふだん課されている「目的」や「意義」や「効果」を一時忘れて、最高にくだらなくて楽しい「おやつギャグ」で息抜きを。

営業部から

▼直近3ヶ月(2022年4月~6月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。

- ① スウエーデンの 小学校社会科の教科書を読む
- ② たった一つを変えるだけ
- ③ 感情と社会性を育む学び(SEL)
- ④ プロジェクト学習とは
- ⑤ 最高の授業
- ⑥ 幼児から民主主義
- ⑦ ぼくは にんげん
- ⑧ あなた自身の社会
- ⑨ ギヴアー 記憶を注ぐ者
- ⑩ 国語の未来は「本づくり」
- ⑪ 虚構の「近代」
- ⑫ 生のための授業
- ⑬ ピア・フィードバック
- ⑭ 「NHKから国民を守る党」
とは何だったのか?
教科書では学べない数学的思考
- ⑮ 教科書では学べない数学的思考

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。